



きくがわ 社協だより

No.107
2014年
1月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。



新年を迎えるにあたり

菊川市社会福祉協議会 会長 鶴田 浩

市民の皆さま、新年明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、それぞれの希望を抱いて新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆さまにとって明るく幸多い年でありますように心からお祈り申し上げます。

さて、本会では菊川市に暮らす皆さま誰もが安心して、いきいき暮らせるまちづくりを目指して、地域福祉の推進を重点事業と位置付けて職員一同精進しております。

その中でも昨年は、台風による被害や西伊豆町での豪雨災害などがあり、災害時のボランティア活動支援の必要性について改めて認識をいたしました。

本会では、発災に備えて災害ボランティア支援本部の立ち上げ訓練を毎年約150名ほどの地域住民の方に参加いただき、支援本部の立ち上げ手順の確認や、災害ボランティアの受け入れから、送り出しまでの流れについて訓練を行っております。

災害時においては行政や本会だけでは限界があります。そして、災害ボランティア支援本部の運営には地域に住む皆さまをはじめ、福祉団体の方や社会福祉施設の方などの御理解と御協力が必要となります。

今後とも私たちが住んでいるこの地域で何が課題で、何が求められているのか。そしてどのような活動を行ったらよいのか皆さまと一緒に考え、実行できるよう地域福祉の推進に努力する所存でありますので、皆さまの一層の御協力をお願いいたします。

結びに、皆さまの益々の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶といたします。

大規模災害被災時対応訓練を実施しました

突然に起こる災害は、時として災害時要援護者(要介護高齢者・障がいをお持ちの方等)を含めた、多くの地域住民の皆さまの日常生活に大きな支障をもたらします。

地震や風水害等の災害時には、全国にある社会福祉協議会において、災害ボランティア活動をはじめとした、福祉救援活動を率先して進めてまいりました。8月に本会が開催した立ち上げ訓練の様子をお知らせします。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会
〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202
Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

菊川市社会福祉協議会では、東海地震や南海トラフ地震をはじめとした地震災害や、西伊豆町での豪雨災害や伊豆大島での土石流災害等のような大規模な災害が発生した際には、多くのボランティアの皆さまから菊川市の復旧と復興に向けた支援をいただくこととなります。被災された市民の皆さまの困りごと（被災者ニーズ）とボランティアの皆さまの支援できる内容をマッチングさせ、円滑に災害ボランティア活動を実施するために、「菊川災害ボランティアコーディネーター（菊ボコ）」と協働で『災害ボランティア支援本部』を立ち上げます。

【平成25年度訓練実施日時】

平成25年8月30日（金） 13時30分～17時00分頃
（会議・準備）晴れ

平成25年8月31日（土） 9時～12時（派遣活動）曇り
連絡調整会議（12時30分～13時00分）

【会場】 プラザげやき北側駐車場及びボランティア室

【目的】 大規模災害発生時に菊川市社会福祉協議会災害対策本部を設置し、社会福祉協議会の役割を明確にするとともに、関係団体と協働して「災害ボ



災害対策会議の様子



災害ボランティア支援本部
立ち上げ準備会議の様子



ボランティアによる障害者用
トイレの設置



炊き出し訓練

ランティア支援本部」を立ち上げます。「災害ボランティア支援本部」の流れを多くの方が理解することで、地域防災力（＝地域の福祉力）を高めるとともに、関係機関との連携の強化を図ります。

【訓練の想定】

地震発生は8月28日（水）午前6時 菊川市全域で震度6強

社協災害対策本部を8月30日（金）午後1時30分設置
午後2時00分に対策会議開催

午後2時15分に災害ボランティア支援本部立ち上げ
準備会議開催

翌日8月31日（土）より「災害ボランティア支援本部」
活動開始を想定

【参加者】

菊川災害ボランティアコーディネーター「菊ボコ」、
BRNきくがわ、菊川市民生委員児童委員協議会、
地域サポーター、菊川市赤十字奉仕団、身体障害者
福祉会ろうあ部、ボランティア連絡協議会「ゆう&
あい菊川」、送迎ボラぶんこ、市内中学生、市役
所（福祉課・安全課）、市内福祉施設、防災指導
員、社協役員

参加者合計 約141名

【訓練スケジュール】

8月28日（水）

午前6時00分 菊川市全域で震度6強の地震発生

8月30日（金）（訓練1日目）

午後1時30分 事務局会議
正副会長事務局会議

午後2時00分 ↓菊川市社協災害対策本部設置決定
菊川市社協災害対策会議

午後2時15分 ↓菊川市社協災害対策本部設置
菊川市災害ボランティア支援本部
立ち上げ準備会議実施

- ① 会場等準備
- ② 関係者ミーティング
- ③ 情報（ニーズ）収集、整理
- ④ 明日への打ち合わせ（確認）

順次実施

8月31日（土）

午前9時20分 受付開始

午前9時30分 災害ボランティアへのボランティア
派遣までの流れを説明

午前9時40分～午前11時30分 各訓練実施

- ① 情報収集連携訓練
- ② 生活基盤整備訓練
- ③ 「災害ボランティア支援本部」
立ち上げ・運営訓練（受入～派
遣）報告書提出

午前11時30分 全体反省会
午前11時35分 非常食体験

正午～午後0時30分 「災害ボランティア支援本部」関
係連絡調整会議

↓1日の作業が終了したことを想
定して、翌日に向けた関係者間
の連絡と調整を行う会議

災害ボランティア支援本部の役割

- ① 避難所や被災現場でのニーズ収集
- ② 県内外から駆け付けけるボランティア受付
必要な人材（ボランティア）を必要な場所へ調整の上派遣
- ③

【本年度訓練の検証】

(1) 事務局会議、正副会長事務局会議を行うことで、社協災害対策本部の設置から、「災害ボランティア支援本部」立ち上げ・運営までの流れを共有いたしました。

(2) 東日本大震災の被災地において、地域福祉を担当する職員だけでなく、社協職員全体で災害ボランティア本部を運営されている場面が多く



災害ボランティア受付



災害ボランティア待機所の様子



ボランティア出発前の手続き



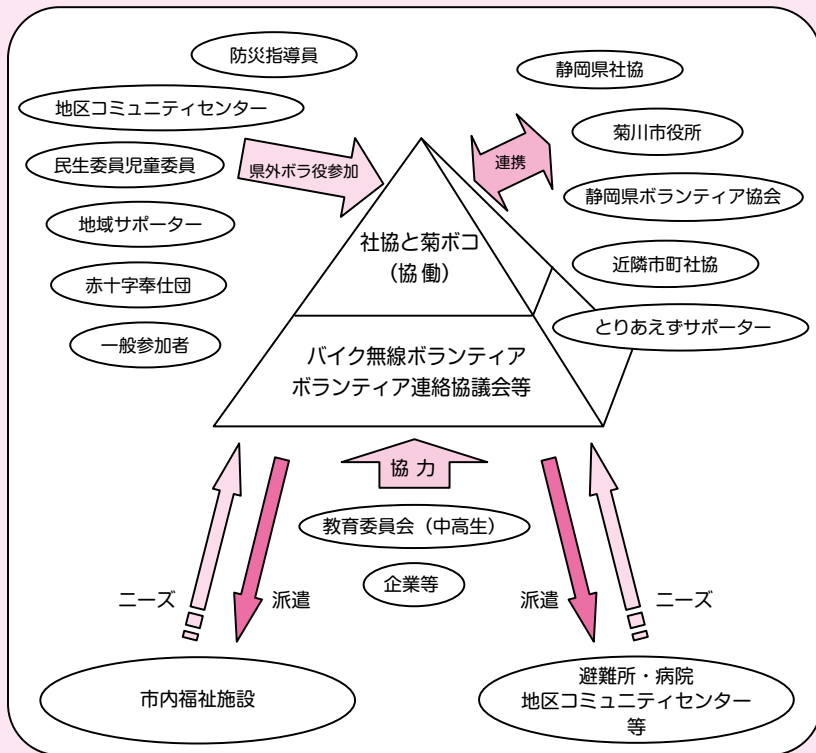
災害ボランティアの現場に出発します

(3) 見受けられたことから、社協事業所（「ティサービス・ヘルパー・訪問看護等」）職員を災害ボランティア支援本部の運営スタッフとして体験参加させました。これは実被災時における対応を想定したものであり、職員間の横のつながりと災害ボランティア支援本部の機能・役割を再確認できたものと考えます。

(4) 積極的に訓練に関わっていた参加者が多く、ボランティア連絡協議会関係者の他にも、民生委員児童委員、赤十字奉仕団、地域サポーター、防災指導員等の参加をいただきました。それぞれに被災時における社協の役割を認識していただけたかと思えます。次年度以降は、更なる呼びかけについても検討を図ります。

(4) 災害ボランティア支援本部の立ち上げ運営訓練と並行して、本会総務経理担当職員は、①本会災害対策本部設置時における菊川市災害対策本部や静岡県社協との連絡調整、②本会職員及び利用者の安否確認と施設状況の確認方法、③インターネットを利用した情報発信、④帰宅困難者の食事や資機材の確保を含めた生活基盤整備についての確認、⑤災ボラ支援本部設置場所について協議がなされました。協議の結果に基づいて具体的な対応を今後進めていく予定です。

「災害ボランティア支援本部」立ち上げ・運営訓練の参加形態
菊川市災害ボランティア支援本部部門



【最後に社協から】

本会では、「大規模災害被災時対応訓練」を実施することで、いつ発生するかわからない大規模災害発生時にも迅速かつ冷静に対応できるよう今後も訓練を実施し備えてまいります。有事の際に地域の皆さま同士での助け合いのある地域とするためには、まずは平時から助け合いのある福祉のまちづくりをすることが重要です。

菊川市社会福祉協議会では、そのような福祉のまちづくりを目指して、住民の皆さまを主体とした地域福祉活動を推進して参りますので、市民の皆さまの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

声を出して歌ったりおしゃべりすることが私の健康法です

Q 現在の活動について教えてください。

私は詩吟を50年以上やっています。

詩吟を始めたきっかけは、近所の方からお誘いを受けて始めました。始めたのはいいけれど、声の出し方、伸ばし方などがなかなか難しくてやめようと思いましたが、でも皆さんがやさしく声をかけてくれるので何とか続けています。

今は、皆さんとお喋りしたり練習したりして、楽しくやっています。

毎月26日には市役所南側の大徳寺さんで六地藏様のお念仏を12人位の仲間と一緒にやっています。

詩吟の練習は、毎月第1水曜日と第3、第4金曜日の月3回で六郷地区センターで練習しています。近所の高木さんに乗せていってもらっています。以前はもっとたくさんの方たちが来ていましたが、今は20人位に減ってしまいました。練習には皆さん元気に来てくれています。始めはゆっくりおしゃべりをしてから練習を始めています。

菊川、金谷、掛川、森、中遠地区（御前崎から南の地区）五教室が集まって“五倫大会”をやっていましたが、だんだん教室の人が少なくなってしまいその結果、教室が無くなってしまって“五倫大会”は今年で最後になってしまいました。“五倫大会”は発表会でおさらい会のようなものです。プログラムがあって、一人ひとりが順番にステージにあがって詩吟を発表します。皆さんの詩吟を聞いて私も勉強になります。

さわだの庄へも年3、4回みんなで集まって慰問に行っています。詩吟をやるなかで、小さい頃の歌を盛り込んで歌ったりしています。みなさんがとても喜んでくれるので嬉しいですね。利用者の皆さんとおしゃべりするのも楽しいです。

Q 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

詩吟をやることで、いろいろな方たちと顔見知りになったりお話ができることは楽しいですね。この年になると外へもあまり出て行かないので、皆さんと詩吟やお喋りしたりすることをこれからも続けていきたいと思います。詩吟は若い人たちが少ないので皆さんに入っていただきたいと思います。

Q 楽しみなこと、やってみたいことがあったら教えてください。

私は92歳になりますので、あまり無理はしないようにしています。でも自分でできることは自分でやるようにしていきたいと思っています。私は困った方がいると、すぐ助けてあげたくなるので、ご近所づきあいをこれからも大切にしながらおしゃべりの場ができるように心掛けていきたいです。



打上 河村はるさん

社会福祉法人和松会 特別養護老人ホーム

松寿園

開園35年目を迎えて

昭和48年に社会福祉法人和松会が設立されて、昨年40周年を迎えました。また、特別養護老人ホーム松寿園は、昭和54年6月に開園され、今年35年目を迎えます。この間、措置制度から介護保険制度へと大きな制度改革があり、民間事業者等の参入により、時代とともに社会福祉法人も運営から経営へと移り変わってきました。

社会福祉法人和松会は、昭和47年に故 和田まつ（前理事長の義母）が、和田家先祖代々の土地を寄付し、和田の和、まつを松に変え、「和松会」が誕生しました。



和松会は、和田まつの社会福祉への想いと、故・有海秀夫前理事長の「誰もが幸せに…」「地域が必要としているニーズに応える」という想いが脈々と受け継がれています。私たちは、時代や制度がどんなに変化しようとも、この和松会の原点を忘れず、次代に受け継いで行きます。

松寿園の理念は「みんなが笑顔になれる場所」です。これは、簡単なようで難しいと職員に言われます。「利用者だけでなく、家族、職員、ボランティア、外来者等々の人が、顔の表情だけでなく、心の底から笑顔になれる施設にしたい」という想いでこの理念が出来ました。これからも理念に少しでも近づけるように、職員一同努力して行きます。

数年前から、日本の少子高齢化が問題になっています。しかし、本当に危機感を持って真剣にこの問題に取り組んでいる人がどの位いるでしょう？2025年を迎える頃には、3人に1人が65歳以上という超高齢社会がやってきます。福祉・介護の仕事に就いている、いないに関わらず、高齢者問題は国民全体の問題です。いずれは誰でも高齢者になり子供や孫に面倒を看てもらおう立場になります。10年後の日本が高齢者にとって、若者にとって、住みやすい環境になるために、みんなでの問題を考えていかなければならないと強く感じます。

これからも松寿園は、利用者のお気持ちを大切に、「地域に愛され貢献する施設」として前向きに取り組んで参りますので、ご支援宜しくお願い致します。

特別養護老人ホーム松寿園
園長 飯塚辰也



ご寄付ありがとうございました（7月～12月）

心温まる浄財は、社会福祉事業に有効活用させていただきます。

- 浄財寄付 ・初心 様（7月・11月） ・横地コミュニティ協議会 様
・(株)エンチョー ジャンボエンチョー菊川店 様
（工作大会参加者から）
・オーロラ会 様 ・社会福祉協力会会員 様
タオル寄贈・明るい社会づくり運動菊川地区協議会 様
・静岡県退職公務員連盟小笠支部 様
車椅子寄贈・マックスバリュ東海株式会社 様
車両寄贈 ・静岡福祉協議会 理事長 服部 恭年 様



受賞おめでとうございます

平成25年度静岡県健康福祉大会において、以下の方々が受賞されました。（敬称略、順不同）

静岡県知事表彰（社会福祉功勞表彰 社会福祉施設従事者）

- ・櫻庭葉子（社会福祉法人 白翁会）
- ・久村まり子、渡邊幸子（社会福祉法人 和松会）

静岡県社会福祉協議会会長表彰（社会福祉功勞表彰法人・事業所の役員及び従事者功勞）

- ・大瀧園子、沢田政子、川田久乃、佐野美晴、出野政子、山崎智恵子（社会福祉法人 育栄会）
- ・朝原江美（社会福祉法人 草笛の会）
- ・石金美代子、高森和子、伊藤生恵、柴田薫、杉山武彦、永田たつえ、河村香住（社会福祉法人 白翁会）
- ・吉井桐子、杉原充子、村松優子、岡本あや、山田訓士（東園学園組合）



受賞おめでとうございます。今後ますますの御活躍を期待いたします。

本通り、西通りサロンを開催しました

12月11日にサロン利用者と地域サポーターの皆さんと堀之内幼稚園の年少児との交流会を町部地区センターで開催しました。

今回は園児との交流ということで発表会での劇を觀賞したり、お手玉やわらべ歌で高齢者と園児の交流を行い楽しいひとときを過ごすことができました。



ひきこもり・不登校問題への家族支援セミナー開催

12月14日にセミナーを開催しました。当事者家族、医療、教育、福祉、労働分野の支援者83名の出席をいただきました。

講師として「NPO法人ニュースタート」から3人（16歳、27歳、36歳）の当事者の皆さんに来ていただき、当時ひきこもっていた時の自分の思いや、両親や家族への思い等を素直にお話しいただきました。進行は東遠学園園長の大石明利氏にお願いし、当事者の皆さんから貴重な体験談を引き出していただきました。



ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

「おにぎりの会」

西方の島川公会堂で平成17年5月にスタートしました。初めは手さぐりの状態だったので年3回でしたが、現在は奇数月の年6回行い、80歳以上の方が参加されています。

特色の1つ目は、西方保育園年長組の子ども達と、毎月11月下旬に交流をしていることです。かわいい踊りや歌などを楽しんだ後、2チームに分かれてゲームをし、最後は「なかよしジャンケン」でふれ合います。参加者全員が笑顔になるひとときです。

特色の2つ目は、毎回スナップ写真を撮り、手作りのアルバムにし、次の年度の第1回で一人ひとりにプレゼントすることです。思い出に残ると、とても喜んでいただいています。



問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

参加者募集「傾聴力養成講座」

話に耳を傾け、じっくり聴くことによって、孤独や不安、寂しさ等を癒し和らげることができます。地域の活動や日常生活の中に「傾聴」が必要な場面は多々存在しています。サロン活動や訪問の際に活かせる傾聴力を学んでみませんか？

皆様の御参加をお待ちしています。

- 日 時** 平成26年3月7日(金) 9:30~12:00
会 場 プラザけやき 201会議室
講 師 静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 助教授 川島貴美江 氏
内 容 講義・演習
「傾聴の基本と訪問や地域活動における傾聴の意味と意義」
対 象 ①ボランティア・地域サポーターなどの活動に参加されている方
②民生委員児童委員など、地域の中で訪問活動を行っている方
③ボランティア活動など社会参加活動に関心のある方
参加費 無料
定 員 40名(先着順)
申込・問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

求むボランティアさん

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

活動内容 精神障がいなど、障がい者との交流

活動日時 月1~2回

募集対象 一般

※ボランティアグループに所属しての活動になります。

活動内容 高校生によるボランティア活動

活動日時 月に1回程度のミーティング、活動は不定期

募集対象 高校生

※ボランティアグループに所属しての活動になります。

参加者募集 各種事業

平成25年度 菊川市社会福祉大会の御案内

- 日時** 平成26年2月11日(火・祝) 13:00~15:40 (受付開始12:30)
- 会場** 菊川文化会館アエル 小ホール
- 式典** ①福祉の向上に貢献された方および団体の表彰 ②大会宣言
- 講演** 古市 佳央 氏 (テレビ静岡 テレビ寺子屋公開録画)
テーマ①「生きる意味」 テーマ②「乗り越えられない壁はない」
※参加自由(事前申し込み不要)です。
手話通訳者および要約筆記者がつかます。
- 問合せ先** 菊川市社会福祉協議会 地域福祉係 ☎35-3724



<講師プロフィール>

「やんちゃな」少年だった高校一年の春、バイク事故で、重度熱傷41%という、生死をさまよう大やけどを負うが、奇跡的に命を取り留めた。
自らの変わり果てた姿に絶望し、真剣に自殺を考えるが、その後3年間にわたる治療を通じて、さまざまな入院患者とのふれあいを経験し、再び生きる希望を取り戻した。
現在は、障害者と健常者の垣根をなくし「生活の質」の向上を目指す、『オープンハートの会』の運営や、自己の体験を通じて得た命の大切さや出逢いのすばらしさを伝えるため、全国での講演活動を行っている。

地域における権利擁護の推進にむけて

~平成25年度菊川市民社会福祉大学~

- 開催日** 平成26年3月9日(日) 13:30~15:30
- 会場** 菊川市中央公民館 多目的ホール
- 参加対象** 市民、関係機関 等 (定員100名)
- 内容** 高齢者、児童、障害者虐待の実態についての報告
報告者: 菊川市長寿介護課、こどもみらい課、福祉課
基調講演「地域における権利擁護の推進にむけて」
講師: 野澤和弘氏 (毎日新聞社論説委員)



申込・問合せ先

申込み用紙は社会福祉協議会窓口または菊川市社会福祉協議会ホームページからダウンロードしてください。
菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724

介護福祉士をめざす方へ

- 専攻科:** 1年制 通信教育 実務者研修コース 4月生
- 学習期間:** 平成26年4月~平成27年3月
- 出願期間:** 平成26年2月3日(月)~平成26年3月28日(金)
- 問合せ先:** NHK 学園 ☎042-572-3151

※平成27年度介護福祉士国家試験の受験者から、実務経験に加えてこの研修の修了が必要になります。

相談窓口

福祉総合相談

日時 月~金曜日 8:15~17:00

心配ごと相談

日時 2月3日(月) 9:00~12:00

2月17日(月) 13:00~16:00

会場 プラザけやき

日時 2月5日(水) 13:00~16:00

2月20日(木) 9:00~12:00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 2月7日(金) 18:00~21:00 (受付20:00まで)

2月16日(日) 9:00~12:00 (受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※初めの方には写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談会

日時 2月3日(月)・17日(月) 13:00~16:00

会場 菊川児童館(プラザけやき2階)

予約電話 090-1476-3233